めざせ！南十字星

笑顔があふれ，しあわせを感じられる学校

学 校 便 り
令和７年１０月国際交流号
ヨハネスブルグ日本人学校

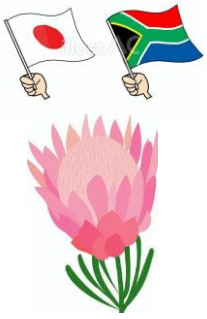
グリーンサイドプライマリースクールとの国際交流(招待)を行いました！

１０月１日にグリーンサイドプライマリースクールの児童生徒を本校に招いて、国際交流を行いました。昨年度は、私たちが学校を訪問し、現地の文化や学校生活に触れる貴重な機会を得ましたが、今年度は「招いての交流」という新たな形での実施となりました。

今回の交流では、日本の文化や学習に関連する授業を中心に、校庭での鬼ごっこなど、子どもたちが自然に関わり合える活動を通じて、互いの理解を深めることができました。特に、私たちの学校に来てもらうことで、日本の学校生活を実際に体験してもらい、より深い文化理解につながったと感じています。

「招いての交流」には、訪問とはまた異なる価値があります。自分たちの環境を整え、相手を迎えるという経験は、子どもたちにとって大きな学びの機会です。準備の段階では、相手の文化や背景を考慮しながら、どのように伝えるか、どうすれば楽しんでもらえるかを考えることが求められました。これは、思いやりや主体性を育むことにつながり、子どもたちの成長を感じる瞬間でもありました。

昨年度の交流では、南アフリカの祝日「ヘリテージデー」に合わせて、民族衣装を身にまとった現地の子どもたちと触れ合い、多様な文化に触れることができました。今年度は、私たちが日本の文化を紹介する側となり、折り紙や書道、昔遊びなどを通じて、日本の魅力を伝えることができました。写真にもあるように、笑顔で活動する子どもたちの姿は、言葉を超えた交流の力を感じさせてくれます。

国際交流は、単なるイベントではなく、子どもたちの心に残る体験であり、将来に向けた大切な一歩です。異なる文化に触れることで、柔軟な思考や多様性への理解が育まれ、グローバルな視野を持つ人間へと成長していく土台となります。

今後も、安全面に十分配慮しながら、こうした交流を継続していくことの意義を改めて感じています。子どもたちが互いに学び合い、尊重し合う姿を見て、国際交流の可能性と希望を強く実感しました。来年度も、こうした交流が続けられることを心より願っています。